

三重県立看護大学についてのアンケート結果

三重県健康福祉部健康福祉総務室

三重県立看護大学の業務運営の目標や計画等の策定の参考とさせていただくため、アンケートを実施しましたところ、735名の方からご回答をいただきました。下記のとおりアンケート結果を取りまとめましたので、ご報告いたします。



アンケート実施期間 平成23年2月18日（金）～平成23年3月2日（水）
意見募集の結果 対象者数 1,355名、回答者数 735名、回答率 54%

アンケートの内容及び集計結果についてはe-モニターのページも合わせてご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top:result&id=89>

Q1～Q10 三重県立看護大学の印象についてあてはまるものを選んでください。

Q1～Q10では三重県立大学の評判、学生、地域貢献、研究活動、就職等についての印象をお尋ねしました。

ほとんどの質問の回答で、良い印象の計が良くない印象の計を上回りましたが、多くの方が「わからない」とされていました。中でも、Q7・Q8の研究や教員の印象についての質問では「わからない」の率がより高くなっていることから、大学が行う研究や教員の活動については専門的、学術的な内容をわかりやすくお伝えしていく必要があると考えられます。

Q10の就職に有利と思われるかお尋ねする質問では「そう思う」「ややそう思う」の計が68%となりました。卒業生には看護師等の国家試験の受験資格が得られることや昨今の看護師不足の状況から就職に有利であると受けとめられていることがうかがえます。

Q11 あなたと三重県立看護大学との関わりについてあてはまるものを選んでください。

大学との「関わりはない」が70%となりました。

三重県立看護大学では、県民の方を対象にした公開講座を実施したり、大学の図書館を一般の方にも開放したりしていますので、こういった情報をより広くお知らせしていく必要があると考えられます。

Q12 三重県立看護大学には附属機関「地域交流センター」が設置されていますが、ご存知でしたか。

地域交流センターについてご存知の方は2%となり、同センター及びその活動は一般にはあまり知られていないという結果となりました。同センターが実施している各事業について、より広くお知らせしていく必要があると考えられます。

Q 1 3 三重県が公立大学法人三重県立看護大学を設置する意義と思われるものを選んでください。

「県内の保健・医療・福祉職場への看護職者の供給」（32%）、「高度な専門知識を持った看護職者の養成」（26%）、「県内の看護職者への専門教育の実施」（15%）などが上位の回答となりました。

Q 1 4 今後の三重県立看護大学の教育に関して期待されることを選んでください。

「県内で働く看護職者を増やす」（17%）、「幅広い知識・教養を身に付けた人材を養成する」（15%）、「高度な看護知識・技術を習得させる」（15%）などが教育について期待されています。

Q 1 5 今後の三重県立看護大学の研究活動に関して期待されることを選んでください。

「医療機関と協働して研究を実施する」（24%）、「地域の課題解決に貢献する研究を実施する」（20%）などとして、「研究内容や成果を学外にもわかりやすく知らせる」（18%）ことが期待されています。

Q 1 6 今後の三重県立看護大学が行う社会貢献に関して期待されることを選んでください。

「教員の持っている知識や大学の知的資源」を県民の皆さまや看護関係者に提供していくことに期待が寄せられています。

Q 1 7 今後の三重県立看護大学の運営について期待されることを選んでください。

「経費を削減するなど効率的で無駄のない大学運営」（21%）、「自立した責任のある大学運営」（19%）、「他大学との連携などにより運営の効率化を図る」（13%）などが上位の回答となりました。

Q 1 8 三重県立看護大学の印象や大学に対してのご意見・ご要望を自由に記入してください。

三重県立看護大学からの情報発信に努めるべきとのご指摘、県内の看護師不足解消へのご期待を数多くいただきました。

また、採算だけにとらわれず学生に対し豊かな人間性を身に付けるような教育を行い、県内看護の質の向上を期待するとのご意見をいただきました。

このアンケートでいただいたご意見や県民の皆さんが大学に対してお持ちの印象、期待されていることを三重県立看護大学の教育・研究や地域貢献活動、広報活動の改善の参考とさせていただき、よりいっそう広く社会に開かれた県民の皆様に関心深い大学となりますよう努めてまいりますので、今後ともご意見やご助言をいただきますようお願いいたします。

アンケートにご協力いただきました e-モニターの皆様には改めてお礼申し上げます。

